

様式 A 英語表現 II (ランボー エリック)

科目にかかわる情報				
科目の 基本 情報	授業科目 (欧文)	英語表現 II English Expression II		単位 2
	一般・専門の別・ 学習の分野	一般・外国語	授業形態・学期	講義・通年
	対象学生	2年共通 (全系)	必修・履修・ 履修選択・選択の別	必履修
	担当教員・所属系	Eric Rambo・総合理工学科情報システム系		
科目の 学習・ 教育内 容にか かわる 情報	基礎となる学問分野	英語学・英米 / 英語圏文学・言語学・音声学		
	学科学習目標との関 連	本科目は「①教養豊かな実践的人間力の養成」, 「⑤グローバルな視点と社会性の養成」, 「⑦コミュニケーション力・プレゼンテーション力の育成」に相当する科目である。		
	技術者教育 プログラムとの関連	本科目が主体とする学習・教育到達目標は「(F) コミュニケーション能力, プレゼンテーション能力の育成」であるが, 付随的には「(B) 地球的視野に立った人間性の育成」に関与する。		
	授業の概要	検定教科書の様々な英文を通して, 語彙・発音・文法を習得した後で, リスニングとスピーキングの活動を行う。さらに定期的に英語でエッセーを書く。		
	学習目的	4 技能 (聴き・読み・書き・話す) をバランスよく養成する。		
	到達目標	1. 英語でコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付ける。 2. 標準的な発音を聴き, 音を模倣し, つづりと音との関係と基本的な強勢を理解できる。 3. 適切な文法を使って, GTEC 程度の基本的なエッセーを書くことができる。 4. 基本的な会話やエッセーを書くための語彙を理解し, 使用することができる。 ◎コミュニケーションツールとしての口述, 記述, 図表などの特徴をあげることができる。		
履修上の注意		本科目は学年の課程修了のために履修が必須である。		
履修のアドバイス		ノートを準備して授業のノートを取り, 頻繁に授業の復習をすること。本授業では辞書は必須である。(可能であれば, 電子辞書が好ましい。)		
基礎科目		英語 I (1 年) 英語表現 I (1)		
関連科目		英語 II (2 年)・英語 III (3)・英語 IV (4)・ コミュニケーション学 I (4)・国際英語論 I (4)・ コミュニケーション学 II (4)・国際英語論 II・英語 V (5)		

授業にかかわる情報			
授業の方法		4 技能（聴き・読み・書き・話す）全てのスキルの向上を目指してアクティビティを行う。	
授業計画	開講週		内容〔項目〕(指示事項)
	前期	後期	
授 業 計 画	1 週		■ 前期ガイダンス Atlantis, Lesson 1
	2 週		■ Atlantis, Lesson 1
	3 週		■ Atlantis, Lesson 2
	4 週		■ Atlantis, Lesson 2 <u>Essay 1 提出</u>
	5 週		■ Atlantis, Lesson 3
	6 週		■ Atlantis, Lesson 3
	7 週		■ まとめと中間試験対策
	8 週		(前期中間試験)
	9 週		■ 前期中間試験の返却と解説 Atlantis, Lesson 4
	10 週		■ Atlantis, Lesson 4
	11 週		■ Atlantis, Lesson 5 <u>Essay 2 提出</u>
	12 週		■ Atlantis, Lesson 5
	13 週		■ Atlantis, Lesson 6
	14 週		■ まとめと期末試験対策
			(前期末試験)
	15 週		■ 前期末試験の返却と解答解説
		16 週	■ Atlantis, Lesson 7
		17 週	■ Atlantis, Lesson 7
		18 週	■ Atlantis, Lesson 8
		19 週	■ Atlantis, Lesson 8 <u>Essay 3 提出</u>
		20 週	■ Atlantis, Lesson 9
		21 週	■ Atlantis, Lesson 9
		22 週	■ まとめと中間試験対策
		23 週	(後期中間試験)
		24 週	■ 後期中間試験の返却と解説 Atlantis, Lesson 10
		25 週	■ Atlantis, Lesson 10
		26 週	■ Atlantis, Lesson 11
		27 週	■ Atlantis, Lesson 11 <u>Essay 4 提出</u>
		28 週	■ Atlantis, Lesson 12
			■ Atlantis, Lesson 12
		29 週	■ まとめと期末試験対策
			(後期末試験)
		30 週	■ 後期末試験の返却と解答解説

教科書, 教材等	教科書 : Atlantis English Expression II (有限会社 CHEERS) 参考書 : 辞書 (電子辞書可) ハンドアウトを綴じるための A4 プラスティックフォルダーも必要。
成績評価方法	4 回の定期試験の結果を同等に評価する 50 % - 小テスト, エッセー, その他の課題 50 % 再試験はしない。
受講上のアドバイス	必ず宿題をしてから, 授業に臨むこと。熱心に授業に参加し, 宿題をきちんとやり続けられれば大きく英語の力を伸ばすことができる。授業開始後の入室は遅刻とみなし, 2 回の遅刻で 1 単位時間の欠課とする。

ルーブリック							
	優		良		可		不可
評価項目 1	英語でコミュニケーションを図ろうとする態度がよく身に付いている。		英語でコミュニケーションを図ろうとする態度が身に付いている。		英語でコミュニケーションを図ろうとする態度がおおむね身に付いている。		英語でコミュニケーションを図ろうとする態度が身に付いていない。
評価項目 2	標準的な発音を聴き、音を模倣し、つづりと音との関係と基本的な強勢をよく理解できる。		標準的な発音を聴き、音を模倣し、つづりと音との関係と基本的な強勢を理解できる。		標準的な発音を聴き、音を模倣し、つづりと音との関係と基本的な強勢をおおむね理解できる。		標準的な発音を聴き、音を模倣し、つづりと音との関係と基本的な強勢を理解できない。
評価項目 3	適切な文法を使って、GTEC 程度の基本的なエッセーをうまく書くことができる。		適切な文法を使って、GTEC 程度の基本的なエッセーを書くことができる。		適切な文法を使って、GTEC 程度の基本的なエッセーをおおむね書くことができる。		適切な文法を使って、GTEC 程度の基本的なエッセーを書くことができない。
評価項目 4	基本的な会話やエッセーを書くための語彙をよく理解し、かつ使用することができる。		基本的な会話やエッセーを書くための語彙を理解し、かつ使用することができる。		基本的な会話やエッセーを書くための語彙を理解し、かつ使用することがおおむねできる。		基本的な会話やエッセーを書くための語彙を理解し、かつ使用することができない。
評価割合							
	試験	発表	相互 評価	自己 評価	課題	小 テスト	合計
総合評価割合	50	0	0	0	25	25	100

基礎的能力	50	0	0	0	25	25	100
專門的能力	0	0	0	0	0	0	
分野横断的 能力	0	0	0	0	0	0	